

ショッピングセンター(SC)の節電対策ガイドライン

平成23年5月19日
(社)日本ショッピングセンター協会

先般の東日本大震災に伴い東京電力及び東北電力管内では大幅な電力供給不足となっている。

3月に計画・実施された計画停電は、企業活動や国民の生活面で大きな混乱を生じさせた。

さらに、今夏には、冷房等の電力需要の大幅な増加が想定されるため、政府の電力需給対策本部は5月13日「夏期の電力需給対策」を決定した。

東京電力及び東北電力管内で、7月～9月の平日の9時から20時における使用最大電力を大口需要家(契約電力500kW以上)、小口需要家(契約電力500kW以下)、家庭の各部門一律に15%削減を要請した。

これを受けて(社)日本ショッピングセンター協会では、計画停電や大規模停電を回避し、震災復興や経済の再生に支障が生じないよう、会員各社が積極的に自主行動計画をとりまとめるとともに、その節電計画をバックアップするため今回節電対策ガイドラインを作成した。

会員各社は、以下のガイドラインとしてのメニューを参考にして、ディベロッパー、テナントの協力体制を確立し、お客様の理解を得ることを基本に、各社・各SCの実情に応じた節電対策の自主行動計画を作成し、**15%**の削減目標を達成されるよう要請する。

なお、政府の要請ではピーク電力の削減対象を平日の9時から20時としているが、電力の供給不足は原発の現状を鑑みると、今夏以降も継続すると考えられる。このような情勢から土曜・日曜においても、来館者数等を勘案しながら、平日に準じた節電対策に取り組むこととする。

<p align="center">照 明</p> <p>(電力構成比約40%)</p>	<p>【ディベロッパー管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ディスプレイ、外壁照明、屋上看板、サイン看板、ショーウインドウ、コルトン等営業に直接影響しない照明は原則消灯する。 ◆ 館内共用通路の基本照明、スポット照明を間引きする。 (最低限の安全性を確保した上で) ◆ エレベータ、エスカレータの天井や下部照明を間引きする (最低限の安全性を確保した上で)
<p align="center">前年比で17%以上の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)の照明を間引きする。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)に人感センサーを導入する。 ◆ 屋内駐車場の照明、屋外駐車場の外灯は、安全性確保に必要な最低限の照度にする。 ◆ スポット照明をLEDに取り換える。 <p>【テナント管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各店内の照明照度を間引きなどによって削減するよう要請する。 (営業に差し支えない範囲で) ◆ スポット照明をLED等の高効率器機に取り換えるよう要請する。 ◆ 飲食店にアイドルタイム時の店内照明を消灯するよう要請する。
<p align="center">空 調</p> <p>(電力構成比約40%)</p>	<p>【ディベロッパー管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 空調温度設定を27℃程度に変更する。 ◆ エアーカーテンの運転を中止する。 ◆ 風除室の空調を停止する、また、風除室ドアを常時開から常時閉にする。 ◆ 空調機内エアークフィルターの清掃を徹底化させる。
<p align="center">前年比で17%以上の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 空調効率を妨げる荷物などを周辺に置かない。 ◆ 冷却水の温度上昇を抑制する。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外気取入れ量を高効率制御する。 ◆ 給排気ファンを高効率制御する。 ◆ 熱源設備運転を電気からガス中心に変更する。 <p>【テナント管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 空調温度設定を27℃に変更することを要請する。 ◆ 飲食店厨房給気ファンの停止を要請する。 ◆ 飲食店にアイドルタイム時の空調停止を要請する。

<p>エレベータ等動力 (電力構成比約10%)</p>	<p>【ディベロッパー管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ エレベータ、エスカレータの運転台数の削減する。 ◆ 社員・従業員の階段利用を促進する。
<p>前年比で7%以上の削減</p>	<p>【テナント管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ キーテナント内のエレベータ、エスカレータの運転台数の削減を要請する。
<p>その他 (電力構成比約10%)</p>	<p>【ディベロッパー管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 暖房便座、温水洗浄便座の運転を停止する。 ◆ 自動販売機のディスプレイ照明の消灯や冷却・保温機能を停止する。 ◆ トイレエアータオルの運転を停止する。 ◆ 従業員食堂の業務用冷蔵庫の温度管理を徹底する。 ◆ 管理事務所のOA機器を未使用時には電源を切る。 ◆ デマンド監視装置によるピーク電力の管理をおこなう。 (ピーク時、換気装置や空調を一時停止する)
<p>前年比で7%以上の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 滝や池などの環境アイテムの稼働を中止する。 ◆ ガラス面にカーテンを設置し熱負荷を低減する。 ◆ 残業を抑制する。 ◆ 自家発電装置の導入や再稼働を実施する。
	<p>【テナント管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 食品テナントの業務用冷蔵庫、ショーケースなどの一部間引きを要請する。 ◆ 飲食テナントの業務用冷蔵庫の温度を高め設定するよう要請する。 ◆ 冷気吹き出し口周辺の整理整頓を要請する。 ◆ OA機器を未使用時には電源を切るよう要請する。 ◆ 残業の抑制や閉店後の速やかな退出を要請する。
<p>合 計</p>	<p>前年比で削減目標を15%削減とする</p>